

令和6年度エシカル消費PR事業 「大学生によるエシカル消費の普及活動等事業」を実施しました

富山県消費者協会では県からの委託事業として、令和6年度エシカル消費 PR 事業「大学生によるエシカル消費の普及活動等事業」を実施しました。

この事業は、近年、消費者を取り巻く課題として、持続可能な社会の実現に貢献する消費行動が求められていることから、県内大学生が人や社会、地域、環境に配慮する「エシカル消費」について学び、普及啓発に有効な取組みを企画・実践することにより、「エシカル消費」の県民への浸透を図ることがねらいです。

令和6年度は、富山大学 人間発達科学部/教育学部 藤本 孝子 准教授のゼミ生(3年生 3名、4年生 4名)の皆さんに協力していただきました。

<現状調査>

藤本ゼミでは、エシカル消費のうち食品ロス削減の現状調査として、10月から12月の期間に1人暮らしの大学生80名を対象に食品ロスに関する意識と実態調査を実施しました。

(令和7年3月に報告書としてまとめる)

<学習実践>

大学生自身が、「エシカル消費」に関する講座の受講や、エコクッキング等の調理実習を通して、「エシカル消費」について学びました。

10月10日(木) 富山県消費者大会においてエシカル消費に関する講演等を聴講
テーマ 「暮らしの中でSDGsに貢献するエシカル消費」
講師 (一社)日本サステナブル・ラベル協会
代表理事 山口 真奈美 氏



(早野木の美氏のオンライン講座)

11月13日(水) (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・
相談員協会の早野木の美氏によるオンライン講座
「大学生によるエシカル消費普及活動のための
学習会」を受講

12月 4日(月) 大学生など1人暮らしの若者を想定し、食品ロスを
減らすなどのエコクッキング等の実習
講師 総合カレッジSEO 富山校
校長 瀬尾 三礼 氏



(エコクッキングの実習)

<普及啓発活動の企画・実践>

「エシカル消費」についての学習をもとに、藤本ゼミでは、2月27日(木)に、富山県立中央農業高校の2年生 26名を対象にゼミ生が講師となってエシカル消費について出前講座を実施しました。

「環境に配慮した消費」「人や社会に配慮した消費」「地域に配慮した消費」について講義した後、エシカル消費の目安となるエコマークなどの認証マークに関するクイズなどを行い、楽しい講座となりました。



(高校生を対象とした出前講座)